

【意見】

4年前、私はさいたま市から田舎暮らしをしたいとの希望で沼田に引っ越して来ました。古民家を購入して自分の手で改修したり、山林を買って、自分のフィールドにしたい。そんな希望を持つ人はコロナ禍もあって確実に増えています。空家バンク、移住トライアル制度の導入。税制面での優遇も必要かも知れませんが、都会から離れた地方でも「子育て充実」を前面に出して流入人口を増やしている街も多くあります。岸田首相が掲げる「田園都市構想」より、沼田は市有林や林野庁までまきこんだ「森林都市構想」です。300坪を単位として、100坪の宅地、100坪の畑、100坪の森で分譲できませんか。

男性60代：市内在住

【回答】

市外から移転された方からのご意見とても参考になります。宅地や畑、森をパッケージした分譲案については、ご自身の経験も踏まえたご提案として大変興味深いものです。本市としましては、事業者とのパートナーシップを大切しながら、地の利を活かし、「子育て充実」も視野に入れたまちづくりを進めていきたいと考えております。

担当：総務部企画政策課